

# 後援会

# たより

## 神に信頼して待ち望む ～最善をなさる神～



会長 中山朝雄

「ハレルヤ。主に感謝せよ。主はまことにいつくしみ深い。その恵みはとこしえまで。」

(詩篇一〇六篇一節)

BTC後援会は、二〇一七年三月(第七二次教団総会)に信徒を主体としたミニストリーとして設立され今年で六年目となりましたが、三年前からは経済的にも独立した活動をする事ができました。ここまで主が豊かに導き守ってくださいました恵みに心より感謝し、主の御名を賛美致します。これは偏に全国の教会のご支援とBTC後援会世

話人の皆様が教会とBTCの橋渡し役として、また祈りの先兵として真実にご奉仕くださった賜物以外何物でもありません。心より感謝いたします。

「主の山には備えがある」(創世記二二章一四節)  
今年三年振りに当教団からBTCに水口聡兄・恵姉(中目黒)を、秋には西潟証兄(深川)と矢木牧子姉(桂町)をお迎えできましたこと、全国の教会と世話人の皆様の献身者興起のための熱心なお祈りの応答として主は憐みを持って導いてくださいましたこと感謝に堪えません。また、これからも献身を

目指している兄弟が次々と興されようとしておりますことも心より感謝しております。

この様に主は献身者を備えてくださっておりますので、教団及びBTCは、この献身者の一人ひとりがのびのびと心置きなく学びと訓練を受けることができるようしっかりとした体制を整えていただきたいと願っております。特に経済的な援助については特段の配慮をお願いしたいと考えます。と申し上げますのは、神学生の減少に伴い以前の様な食事の完全支給体制から週四回の昼食等の体制に変わり自給の食費が必要となり、また学びのための必需品であるパソコンや携帯電話等、従来の神学生生活では掛からなかった諸経費が必要となっております。現在の教団の神学生への経済的支援制度は、経済的な理由により学業が困難な学生に対して納入金の一定額ないし全額を一時免除する制度があり、また生活支援制度として生活に必要な額を一万円を上限として貸与するとなっております。しかし、上述のように現在の神学院生活は以前には必要なかった経費が生じておりますので、この生活支

### 目次

巻頭言.....	1
祈りの課題.....	1
BTC年末リトリート案内....	2
西日本ブロック世話人会....	2
新入生、新スタッフ紹介....	2
教師陣に、聞く.....	3
卒業生近況.....	3
BTC後援会費会計報告.....	4
院長コラム.....	4
編集後記.....	4

援制度の支援額を現実に合わせた金額に引き上げる事が喫緊の課題となっております。

昨今の牧師不足から教団を挙げて献身者興起の祈りが叫ばれておりますが、召命を受けた兄弟が経済的な面で煩うことなく学びと訓練を受けることができますように願っております。

これには教団・BTCとして資金的対応が必要になりますので、私達信徒も献身者興起のために祈り続けるとともに、そのための必要についてプライオリティーを考えて夫々置かれた場所であってくださる主を信じて祈りつつベストを尽くさせていただきます。

- ◆日々お祈りください
- ① 献身に導かれる方が与えられるように。特に、若い方々がさらに加えられるように。
- ② 神学生の学びと訓練が祝福されるように。
- ③ 教師、職員、スタッフが恵み
- ④ 今後のキャンパス活用に主の導きがあるように。
- ⑤ 神学院の必要が豊かに満たされるように。
- ⑥ 後援会役員、推進委員、世話人が尊く用いられるように。

イムマヌエル  
聖宣神学院後援会  
<http://btc.jp.com/>

2023年 第9回 BTC リトリート

12/28(木) - 30(土)

「主の召しに応えて」  
 主にある兄弟姉妹、  
 先輩方と共に、  
 喜びを求めて祈り、  
 御言葉に耳を傾け、  
 思いめぐらすひととき、  
 献身、働き、召命、信仰、  
 自分の歩みとじっくり  
 向き合ってみませんか。

Place: 聖宣神学院  
 Cost: 一般10,000円 学生9,000円  
 (交通費補助あり/詳しくは裏面をご覧ください)  
 申し込み方法: QRコードから  
 (登録QRコードは枚数から聞いてください)  
 締め切り: 12月10日(日)  
 限定25名

主催: イムマヌエル聖宣神学院 & 教育局 青少年部

## 神学院リトリートの ご案内

神学院教師 田辺宣恵

今年も年末にリトリートが計画されています。年末、自然に囲まれ、静かに主と語り、友と交わり、祈る時を過ごす。最近はや青年部と協力して、楽しい時、喜びを分かち合う時もあり、それでいて献身、召命、御心をじっくりと深く考える時もあります。時には焚き火を囲みながら話している、自然に心あたたまる会話だったり、人のエピソードで励まされたり、本音に気付かされたり、将来の夢を話したり、その延長に折り合う時が生まれました。

りします。ぜひ、そんなひとときを年末に過ごしませんか。日程は12月28日から30日です。詳しくはチラシが各教会に届きますので、そちらをご覧ください。

## 西日本世話人会報告

推進委員 松岡謙之

9月30日、BTC後援会西日本ブロック世話人会がZOOMと対面のハイブリット方式で開催されました。3名の世話人、林院長、後援会推進委員5名、神学生2名の計11名の参加で、自己紹介、神学生のお証しがなされました。林院長からはエッセイ4章からメッセージが取り次がれました。

その主旨は「キリスト教会建て上げのためには多様性を有する各部分があるに依りて働くことが必要。その部分とは世話人一人一人であり我々一人一人でありBTCでもあるのです。」とのことでした。

BTC紹介用のVTRはこの度スタッフにより更新されました。世話人の御意見を伺った後、全員でBTCのために祈りました。



(ベテルハウスでの配信)

## 2023年度秋季神学生



西潟 証兄

深川教会出身

修了者コース

今年度 Wesley Biblical Seminary

卒業後入学

(学びへの期待&抱負)

「これからの授業やインターンを通して、教会と神学のバランスを学んでいきたい。蓄えた知識をどのように、そしてどの程度の割合で遣わされた教会で応用実践していくのが大切なのか。また、どのようなことに配慮しながら、自分の持つ考えを伝えていくべきなのかを学んでいきたい。」



矢木牧子姉

桂町教会出身

聴講コース

## 学務課スタッフ



久芳いずみ先生

沼津教会出身

2014年BTC卒業

2023年までブランドン

久芳先生と下関教会で牧会。

三人家族。  
BTCキャンパス常駐

## 教師陣に、聞く

## 「プレイズ&amp;ワークショップ」

神学院教会  
田辺宜恵先生

私が現在教えているクラスはプレイズ&ワークショップというクラスで、賛美や新しい歌とそのための発声や技術、その他、礼拝のデザインと創意工夫、賛美歌の背景など主に

実践のためのクラスになっていきます。また、コースもそうですが、クラス全体で考えを出し合い、チームでミニストーリーに取り組むこと、お互いの個性や賜物を發揮していくかにハーモニーを作り出すかの練習というサブテーマもあります。

伝統とクリエイティブさというのは両方バランスよくあって、はじめて礼拝というものがマンネリにならず、活気に満ち、古き良きものを新

鮮に味わい、恵みの豊かさを体験できるものになっていくのではないかと思っております。

そのために毎学期一回は、クラスチャペルというのをしています。自由にテーマも何をやるかもクラスで決めることのできる礼拝です。特別音楽も含めて、伝統にとられない礼拝を企画することによって、頭を柔軟にすること、伝統を守りつつ、自分たちがやれることがたくさんあることを学んで頂きたいと思っております。

その企画には私も加わって、一緒に考えます。時に、パントマイムとかいろいろな今回これはというような課題もあります。メッセージがパントマイムと融合していたり、中高生キャンプの想定だったり。派遣礼拝ではここにいる先生方の献身の御言葉動画を作成したり、自分たちが録音した賛美にアニメーションをはめ込んだりしました。今年の七月には「水になろう」をテーマにエゼキエル四七章前半をメッセージに朗読劇を出席者にも協力してもらってやった後、この川の流

れを歌って、メッセージは手紙の代読という形で。最後は手を水に浸しながら、この流れがいろんな所に流れて恵みで満たされる様を思って祈る時を持ちました。刺激の多いクラスです。



## BTC卒業生近況

フリー・  
メソジスト  
東京神学院  
桜が丘教会  
石川 順先生

私は、今年の三月にインマヌエル聖宣神学院を卒業しました。卒業して約半年が経ちます。今、遣わされている教会でファミリーキャンプを行うことになり、会場がホテルハウスになりました。約半年ぶりに神学院に戻ってきました。四年の間神学院で生活を

していたので、神学院に「行った」という感覚より「戻ってきた」という感覚の方がしっくりくる感じでした。半年ぶり神学院に戻って思い出したのは、家族寮の窓から見ていた風景でした。家族寮には大きな窓(ガラス戸)があり、横浜商科大学の方を見ると木の枝や葉が見えます。今回のファミリーキャンプではホテルハウス一室で泊まりましたが、その部屋から外を見ると、家族寮で見ていた風景とほとんど同じ風景でした。半年しか経っていないのに、しばらく来ていなかったかのような懐かしさを感じ

ました。懐かしさとともに、神学生時代の恵みが思い出され心が温かくなりました。神学院のご奉仕に携わっていただいた先生方から頂いた慰めや励ましの言葉、当時神学生だった仲間からもらった突然のアイスクリームの差し入れ、ボランティアで作ってくださった美味しい食事。どれも、良い思い出です。そして、それは私ひとりを受けた恵みではなく、私の妻や娘も受けた恵みです。単純に考えると三倍の恵みが注がれていた。当たり前でない、本当に感謝な時でした。また、当時娘が通っていた幼稚園がカト

リック系の幼稚園だったのですが、その幼稚園の担任の先生や園長、理事長との関わりを通してキリストにある繋がりがや恵みを私自身体験させて頂き、広い視野を持つ機会が与えられたことも感謝でした。もうひとつ印象に残っていることは、週一回開かれていた夜の祈祷会です。静かな夜の時間に歌う賛美、インマヌエル讚美歌一八番「日くれてよもは暗く」が私の心に深く染みていくのをよく覚えていますが、毎週ではなかったと思います。かなりの頻度で賛美していたような気がします。歌詞の中の「主よ、

ともに宿りませ」が特に心に響きました。この歌詞と音楽が、イエス様がどんな時も私と一緒にいてくださるという約束を思い起こさせてくれました。ですから、今もこの賛美を聞くと、神学生時代の祈祷会の匂いが漂います。そしてその度に、インマヌエルの約束を思い出します。今、遣わされている地においてもイエス様がともにいてくださることを信じ、主に委ねて歩んで行きたいと願っています。



## BTC後援会費ご協力に感謝します

全国の教会の皆様のご支援により下記の通り会計報告できますこと感謝いたします。今後も後援会費(月500円以上)のご協力をよろしくお願い致します。

## BTC後援会費収支報告書

2023年10月3日現在

項目	収入	支出
23年3月31日繰越	873,938	
後援会費(教会)	196,670	
雑収入(利息)	4	
西日本B世話人会		35,018
通信費		24,347
印刷費		18,335
会議費		7,620
* 支援金献金		30,000
交通費		17,000
事務費		836
雑費		220
小計	1,070,612	133,466
次期繰越		937,146
合計	1,070,612	1,070,612

\* 支援金:BTC夏フェスタへの支援献金



石川順先生ご家族(キャンプでの野外食事)

※左から順先生、牧子姉、あさひちゃん

「私の同労者テモテ、また私の同胞、ルキオとヤソンとソシパテロが、あなたがたによくと言っています。」

(ローマ一六・21)

ローマ人への手紙は、新約聖書にある手紙の中でも最も長いものの一つであり、その大部分は福音について系統立てて述べている論

## 院長コラム

福音の働きを支えた人たち

文のような内容です。しかし、その最後の章には、奉仕者の推薦とローマにいるクリスチャンたちへの「よろしく」との挨拶がかなりのスペースを割いて記されています。パウロがまだ訪れたことのないローマの教会とのつながりを

示し、同じ福音の恵みに与つたものとしての一体感を見ることが出来ます。

それに続いて、最後の勧めと祝福をもって、手紙は一応締めくくられますが、パウロは、自分のまわりにいる人たちからの挨拶を加えています。

す。当時の手紙は、手紙を送る人が話す言葉を別の人が筆記する形を取るの一般的なものでした。22節では、その筆記者であったテルティオが自分の言葉として挨拶を述べています。情景を想像してみてください。パウロは、このロー

マ人への手紙に記されている内容を語っています。一度に全部を語ったのか、何回かに分けたのかはわかりません。その語られている言葉をテルティオが書き記しています。恐らく、ここに名前の出ているテモテ、ルキオ、ヤソン、ソシパテロ、ガイオ、エラスト、クアルトといった人々がそのまわりにいました。彼らは、パウロが語る言葉を「その通りだ」とうなずきながら聞いていたことでしょう。あるいは「なるほど、そういうことか」と新しい発見をしながら受けた福音のすばらしさを味わっていたかもしれせん。テモテをはじめとするこ

これらの人々の存在は、パウロの働きにおいて大きな支えとなったのは想像に難くないことです。

そしてこのようにして記された手紙はローマに届けられ、パウロに会ったことのない人々も含まれている教会で朗読されます。そこで、書き送った側の人々と受け取った側の人々が一つとされるのです。福音は共有され、関わった人々によってさらに広がっていくのです。



(院長 林正弘)

2023年11月1日 第14号

編集・発行人

中山朝雄(後援会会長)

後援会事務局

〒226-0024

神奈川県横浜市緑区西八朔町1194-2

※後援会についてお問い合わせは  
下記までご連絡ください。

電話

03-3291-1308(本部、中山)

メールアドレス

koenkai@btc.jpn.com

ホッとひと息

編集後記



企画担当から

今年度は教団出身の神学生四人を新人生としてBTCにお迎えすることが出来ました。祈り待ち望んでいたことではありますが、「感謝、感謝」と浮かれがちな気持ちになります。これまでなぜ教団出身の神学生が与えられなかったのか、なぜ直接献身者が興されなかったのか、なぜ救われる人が少ないのか。深く神の前に黙想するようにと示されます。(M・I)